

ワークショップ開催要項

※本要項に記載の内容は予定であり、当日の状況や準備の都合により、細かな変更が生じる可能性がございます。あらかじめご了承ください。

1. ワークショップ名

「子どもたちにとって望ましい学校の姿を考えるワークショップ」

2. 開催の目的

このワークショップは、市が現在進めている「今後の小中学校のあり方」についての検討の参考とするため、さまざまな立場の皆さまが一同に会し、学校の未来について共に考えていただく場として開催します。

学校は子どもたちのための場所であると同時に、地域にとっても大切な場所です。このワークショップで、学校に関わる多様な立場の方々（子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、学校関係者など）がそれぞれの立場から「望ましい学校の姿」について意見を交わすことで、より多角的な視点からのご意見がうかがえるものと考えています。

このワークショップでいただいたご意見を、今後の検討に活かしてまいります。

3. 日時・場所

- ・日時：2025年10月31日（金）18:00～20:00（所要時間：120分以内）
- ・場所：長門市役所 4階会議室 1・2
- ・傍聴可能

4. 参加者

区分	人数
市内学校関係者（校長等）【グループワーク・ファシリテーター】	6名
保護者代表	15名 ・小中：10名（みすゞ学園単位×2）（まちこみメールで募集の上、10名に調整します） ・幼保：5名（未就学児の保護者）
生徒代表 （中学2・3年生）	12名（深川中4、その他各2）
高校生等	6名程度
学校運営協議会委員 （地域住民委員）	5名程度（みすゞ学園単位）
地域住民	11名程度（うち2名HP公募） ・自治会：5名程度 ・交流プラザ運営協議会：6名（仙崎、中央、俵山、三隅、日置、油谷）
計	55名程度

※6グループ×9名程度

（各区分・地区バランスよくグループ分け）

5. ワークショップの内容

(1) テーマ(目的)

● 人口減少・少子高齢化が進む長門市において、子どもたちにとって望ましい学校とは

- 長門市では、地域総がかりで子どもたちを育てる環境整備に取り組んでいるが、今後、人口減少や少子高齢化がさらに進む中で、児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に加え、学校と地域が協働で行う取組の支え手である地域の人も減少していくことが予想される。

こうした状況を踏まえ、将来の長門市における教育や学校のあり方について、参加者とともに理解を深めたい。

(2) 説明

①長門市小中学校の教育の状況

②長門市小中学校の児童生徒数の状況 等

(3) グループ討議

①オープニング(10 分)

〈進行内容〉

- 挨拶と自己紹介: 主催者から簡単な挨拶と、ワークショップの目的や重要性を説明。
- 目的の共有: 「少子化が進む長門市の望ましい学校とは?」というテーマを設定し、参加者に何をを目指しているのかを明確に伝える。
- アイスブレイク: 少し雑談を交え、参加者同士がリラックスできるようにする。

②現状分析と課題の洗い出し(20 分)

〈進行内容〉

- グループディスカッション: 少子化に伴う問題点や課題をグループごとに洗い出し、共有する。

③望ましい学校像を描く(30 分)

〈進行内容〉

- 個別ブレインストーミング: 各自で「望ましい学校」に関するアイデアを自由にメモ書きし、思いつく限りのアイデアを出す。
- グループ討議: 各グループで「望ましい学校像」を具体的に討議します。

(4) グループごとに出たアイデアを共有、発表。(20 分)

各班 3 分程度の発表

※ (2) 説明～ (4) 発表までトータルで 2 時間以内